

1. 施策の概要

施策シート【14_01】

保健所、子ども未来部

施策名称		安心して妊娠・出産できる環境づくり				
総合計画体系	基本目標等	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心をはぐくむまち				
	施策目標等	14.安心して妊娠・出産できる環境が整うまち				
めざす姿（主観的満足度）		安心して妊娠・出産できる環境が整っている				
概要		妊娠・出産を望むすべての人が、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを進める。				
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度	R7年度			R8年度	R9年度
	1. 枚方市駅直結の複合施設内に まるっとこどもセンターを設置 ○4月にまるっとこどもセンターを設置、 令和6年度前期に③街区の行政 施設内へ移転 2. 妊娠・出産・子育てにおける一貫 した支援 3. 支援メニューの体系的なマネジメン ト ○サポートプランの作成開始 4. 相談におけるICT機器を活用した 利便性の向上とアウトリーチによる 支援 5. 不妊治療ペア検査助成 ○助成開始 6. 不育症治療費助成					
	2. 妊娠・出産・子育てにおける一貫 した支援 ○妊婦健康診査の拡充					
	2. 妊娠・出産・子育てにおける一貫 した支援 ○大阪府集合契約による産後ケア 事業の実施。					

2. 市民満足度、取り組み実績および施策指標の分析

市民満足度の分析

【満足度29.4%】

- ・年代別では、最も高いのは30歳台で64.8%、最も低いのは70歳台で19.4%である。
- ・昨年度と比較すると、全体では11.8ポイント減少しているが、若者世代（24歳以下）では1.7ポイント上昇した。

取り組み実績および施策指標の分析

【取り組み実績】

- ・施策の進捗としては、概ね達成できている。

【施策指標】

- ・指標については、「夫婦そろって早期に不妊検査を受けることにより、適切な医療に繋がった割合」は、目標を達成している。「サポートプラン作成件数」については、未達成だが、目標には近づいている。
- ・「この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合」、「アウトリーチによる支援数」、「妊娠11週以下での妊娠の届出率」、「検査費・治療費負担軽減率」、「不育症検査を受けることにより、適切な治療に繋がった割合」は、未達成である。

3. 具体的な取り組みの進捗と施策指標の実績

施策シート【14_01】ー 具体的な取り組み

保健所、子ども未来部

施策名称	安心して妊娠・出産できる環境づくり
------	-------------------

1. 枚方市駅直結の複合施設内にまるっとこどもセンターを設置

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
令和6年度に児童福祉と母子保健が一体的に妊産婦・子どもを支援する、まるっとこどもセンターを設置。	・4月にまるっとこどもセンターを設置 ・年度前期に③街区の行政施設内へ移転 ・子ども・妊産婦、家庭を支援	継続	継続	継続	まるっとこどもセンター
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
経済困窮など支援を要する家庭も増加しており、児童福祉と母子保健が一体的に支援する体制を継続する。	9月に③街区の行政施設内に移転し、児童福祉と母子保健が一体となり、こども・妊産婦、家庭を支援している。	児童福祉と母子保健が一体となり、こども・妊産婦、家庭を支援している。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

※関連指標なし

施策シート【14_01】－ 具体的な取り組み

保健所、子ども未来部

施策名称	安心して妊娠・出産できる環境づくり
------	-------------------

2. 妊娠・出産・子育てにおける一貫した支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
・妊娠届出時の全数面接、乳児家庭全戸訪問事業等により妊娠から出産まで一貫した相談支援や情報提供の実施。出産・子育て応援ギフトを支給することで経済的支援を実施。 ・特に心身のケアや育児のサポート等のきめ細かい支援が必要な退院直後から産後4か月未満の母子を対象に産後ママ安心ケアサービスを実施。 ・年齢や利用シーン別に子育てに関するサービスや支援メニューがわかるサービスを作成。	・産科初回受診料補助による経済的支援を実施 ・個別および集団での母子との関わりを通して、ニーズの把握やニーズに応じた個別支援を実施 ・さまざまな事業の機会やホームページ、SNS等も活用し、効果的に情報を発信	・国の動向を注視し、引き続き安心して妊娠・出産・子育てができる環境を整えていく ・さまざまな事業の機会やホームページ、SNS等も活用し、効果的に情報を発信 ・妊婦健康診査の拡充 ・産後ケア事業利用システム「あずかるこちゃん」の導入試行実施。	・継続 ・大阪府集合契約による産後ケア事業の実施。	継続	私立保育幼稚園課 まるっとこどもセンター
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
産前産後の期間をとおして、母子保健や子育てに関する情報提供や必要な支援の実施を経済的支援と合わせて実施してきた。今後も、継続的に実施する。	初回産科受診料の補助等経済的支援等と組み合わせて、妊婦等の状況に沿った支援を実施した。	法制化された給付事業に加え妊婦健診補助の拡充などの経済的支援の他、システムの導入によりサービスの利便性向上にも取り組んだ。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【14_01】－ 施策指標

保健所、子ども未来部

施策名称	安心して妊娠・出産できる環境づくり
------	-------------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合	乳幼児健康診査（4か月児・1歳6か月児・3歳6か月児健康診査）受診時の保護者に実施するアンケートにおいて「この地域で、今後も子育てをしたい」と回答した割合	97.0	100	100	100	%	まるっとこどもセンター	2. 妊娠・出産・子育てにおける一貫した支援
各年度の実績		97.1	97.1			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 4か月児健康診査：97.5% 1歳6か月児健康診査：96.8% 3歳6か月児健康診査：97.0%								
【施策指標の分析 R7】 4か月児健康診査：97.7% 1歳6か月児健康診査：97.0% 3歳6か月児健康診査：96.7%								
妊娠11週以下での妊娠の届出率	妊娠11週以下での妊娠の届出数／全届出数	96.5	97.0	97.0	97.0	%	まるっとこどもセンター	2. 妊娠・出産・子育てにおける一貫した支援
各年度の実績		96.3	97.4			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 海外から帰国して出産する妊婦もあり、その場合は妊娠届出が12週を超えることが多い。								
【施策指標の分析 R7】 海外から帰国して出産する妊婦もあり、その場合は妊娠届出が12週を超えることが多い。								

施策名称	安心して妊娠・出産できる環境づくり
------	-------------------

3. 支援メニューの体系的なマネジメント

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
児童福祉と母子保健の双方の支援が必要な妊産婦・子どもに対し、必要な支援をマネジメントするためサポートプランを作成。	・必要な支援をマネジメントするためのサポートプランの作成を開始 ・サポートプラン作成に係る研修受講・勉強会等の実施	サポートプランの作成により、支援が適切かつ効果的に行われているか検証しつつ継続	継続	継続	まるっとこどもセンター
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
作成には、信頼関係の構築や、きめ細やかな対応が必要となり、時間を要するが、引き続き、必要な支援をマネジメントするために、作成を継続する。	・必要な人へのサポートプランの作成を開始した。 （作成件数：137件） ・大阪府や児童虐待防止協会が主催する研修を受講した。	・生成AIサービス活用により、効率的なサポートプラン作成を実施した。 ・必要な人へのサポートプランの作成を重点的に行った（作成件数：552件）			
年度ごとの達成状況	○	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
サポートプラン作成件数	母子保健サービスや子育て支援を必要とする妊産婦や子ども、子育て世帯に確実に支援を届けるため、支援メニューの体系的なマネジメントを行う「サポートプラン」を作成した件数	1,000	1,000	1,000	1,000	件	まるっとこどもセンター	3. 支援メニューの体系的なマネジメント
各年度の実績		137	552			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 サポートプランの作成を開始し、より丁寧な支援が必要な人に作成した。								
【施策指標の分析 R7】 生成AIサービス活用による、効果的・効率的なサポートプラン作成を開始した。								

施策名称	安心して妊娠・出産できる環境づくり
------	-------------------

4. 相談におけるICT機器を活用した利便性の向上とアウトリーチによる支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
まるっとこどもセンターにおいて予約やオンライン相談等DXを促進するとともに、支援が必要な対象へのアウトリーチを充実するなど、市民のより相談しやすい体制を構築。	・相談時における庁内各課とのオンライン連携 ・各種相談や事業のDX利用の促進 ・アウトリーチ支援の充実	継続	継続	継続	まるっとこどもセンター
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
母子保健事業におけるLogoフォームでの予約や妊婦オンライン相談を実施すると共に、支援が必要な対象は家庭訪問を行う等、市民の状況やニーズに応じた支援体制を引き続き構築していく。	・乳幼児の栄養相談についてオンライン相談を試行的に開始した。 ・伴走型相談支援も合わせて専門職によるアウトリーチ支援の充実が図れた。（支援件数：10,958件）	・オンラインと対面を併用し、市民のニーズに応じた支援を行った。 ・地域支援アウトリーチ支援件数：4,883件 ・伴走型相談支援も合わせて専門職によるアウトリーチ支援の充実が図れた。（支援件数：11,069件）			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
アウトリーチによる支援数	窓口に出向くことができない家庭等に対し、必要に応じて 重層的支援につなげるため、オンライン相談や訪問等アウトリーチによる支援を行った件数	10,500	12,000	12,000	12,000	件	まるっとこどもセンター	4. 相談におけるICT機器を活用した利便性の向上とアウトリーチによる支援
各年度の実績		10,958	11,069			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 オンライン面談：130件 母子保健訪問：6434件（内、委託助産師2140件） 地域支援訪問：4394件								
【施策指標の分析 R7】 オンライン面談：100件 母子保健訪問：6,083件（内、委託助産師2,085件） 地域支援訪問：4,886件								

施策名称	安心して妊娠・出産できる環境づくり
------	-------------------

5. 不妊治療ペア検査助成

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
子どもを望むご夫婦に対し、不妊症の検査に係る費用の一部を助成し、早期に夫婦ペアで受診・検査を行うことで不妊の原因を発見し、必要に応じて適切な治療を始められるよう取り組む。	令和6年4月以降に不妊症の診断等のために医師が必要と認めた不妊症の検査で、検査開始日から1年以内に夫婦ペアで行った一連の検査費用に対して助成を開始	継続	継続	継続	保健予防課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
申請件数が伸び悩んだため、広報紙やホームページを利用し、医療機関とも連携をして、支援を必要としている人に届くよう情報発信をする。	申請があった全件に対して審査をし、助成を行った。今年度の申請締め切り前に広報を行った。	申請があった全件に対して審査をし、助成を行った。今年度の申請締め切り前に、男性の検査を促進するため泌尿器科を標榜する市内医療機関等にも周知啓発を行った。			
年度ごとの達成状況	○	○			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
夫婦そろって早期に不妊検査を受けることにより、適切な医療に繋がった割合	検査後に不妊治療を開始した件数／助成件数	80	80	80	80	%	保健予防課	5. 不妊治療ペア検査助成
各年度の実績		80	92			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 検査により治療が必要と判断され、治療につながった人の割合が見込み通りとなった。 (なお、原因不明が約20%とされているため、目標値は80%で設定)								
【施策指標の分析 R7】 検査により治療が必要と判断され、治療につながった人の割合が見込み通りとなった。 (なお、原因不明が約20%とされているため、目標値は80%で設定)								

施策シート【14_01】－ 具体的な取り組み

保健所、子ども未来部

施策名称	安心して妊娠・出産できる環境づくり
------	-------------------

6. 不育症治療費助成

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
妊娠はするが、流産、死産などを2回以上繰り返す等、結果的に子どもを持ってない「不育症」でお悩みのご夫婦に対し、不育症の原因検索のために受けた検査費用や治療費の一部を助成し、早期に適切な治療を受け、安心して妊娠・出産できる環境をめざす。	・令和6年4月1日以降に治療を開始した不育症治療について、対象要件や申請期限の一部見直しを実施。 ・広報ひらかたやSNS等を活用して情報発信を行う ・医療機関に対してチラシを送付し、対象となる市民への周知について協力を依頼	継続	継続	継続	保健予防課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
申請件数が伸び悩んだため、広報紙やホームページを利用し、医療機関とも連携をして、支援を必要としている人に届くよう情報発信をする。	申請があった全件に対して審査をし、助成を行った。今年度の申請締め切り前に広報を行った。	申請があった全件に対して審査をし、助成を行った。助成対象となる検査項目の追加に合わせ、医療機関等に周知を行ったほか、今年度の申請締め切り前に広報を行った。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【14_01】－ 施策指標

保健所、子ども未来部

施策名称	安心して妊娠・出産できる環境づくり
------	-------------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
検査費・治療費負担軽減率	助成金額／助成対象となった検査費・治療費	98	98	98	98	%	保健予防課	6. 不育症治療費助成
各年度の実績		70	24			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 制度設計時に調査した平均治療・検査費用よりも、相当額上回った治療・検査が複数あったため、負担軽減率が低くなった。								
【施策指標の分析 R7】 R7年度の治療費助成申請3件のうち1件が、平均的な治療費を相当額上回っていた結果、負担軽減率は16%となった。当該1件を除外した軽減率は96%。								
不育症検査を受けることにより、適切な治療に繋がった割合	検査後に不育症治療を開始した件数／助成件数	60	60	60	60	%	保健予防課	6. 不育症治療費助成
各年度の実績		33	41			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 検査により不育の原因がわかる割合を指標としたが、実際には検査から即治療を必要としないケースなどがあったため、治療につながった割合が低くなった。								
【施策指標の分析 R7】 検査により不育の原因がわかる割合を指標としたが、実際には検査から即治療を必要としないケースなどがあったため、治療につながった割合が低くなった。								

4. 取組満足度と関心・期待度・ニーズの4象限マトリクス分析

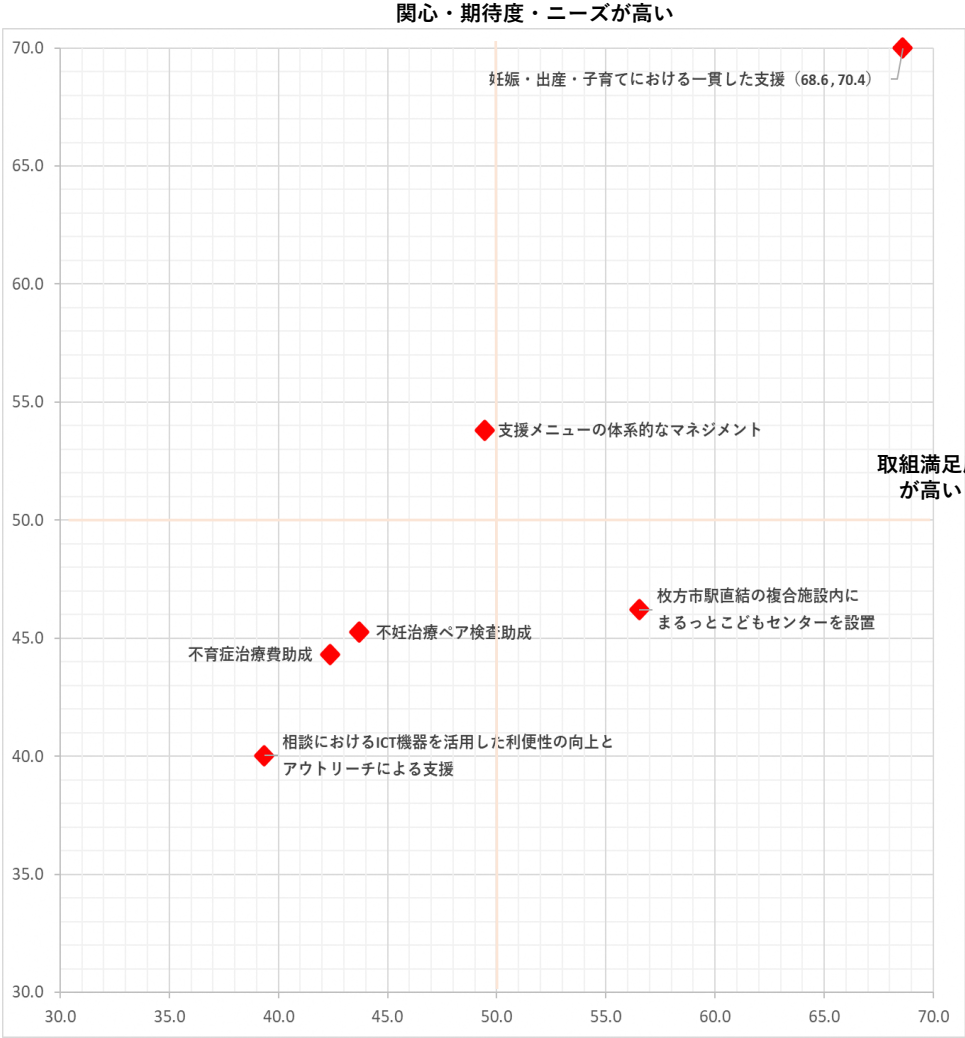
安心して妊娠・出産できる環境
14_01 安心して妊娠・出産できる環境づくり

施策満足度		
満足	不満足	どちらとも いえない わからない
29.4%	6.6%	64.1%
「決め手となった取り組みはない」と回答した人		
50.9%		

※回答数／全体数1,762

※満足の定義は、「感じている」「やや感じている」を選択した人で、
不満足の定義は、「あまり感じていない」「感じていない」を選択した人

※各施策における取組満足度や関心・期待度・ニーズを分析するものであり、異なる施策間での比較を行うものではありません。



目指すべき姿
(施策満足度)『安心して妊娠・出産できる環境』に紐づく全取り組み⇒青丸

上記のうち施策シート『14_01 安心して妊娠・出産できる環境づくり』に紐づく取り組み⇒赤ダイヤ

施策の分析

- ・「2. 妊娠・出産・子育てにおける一貫した支援」の関心・期待度・ニーズと取組満足度はともに高い。
- ・「1. 枚方市駅直結の複合施設内にまるっとこどもセンターを設置」の取組満足度は高く、関心・期待度・ニーズは平均的である。
- ・「3. 支援メニューの体系的なマネジメント」は取組満足度、関心・期待度・ニーズはともに平均的である。
- ・「5. 不妊治療ペア検査助成」の取組満足度は低いものの、関心・期待度・ニーズは平均的である。
- ・「4. 相談におけるICT機器を活用した利便性の向上とアウトリーチによる支援」、「6. 不妊症治療費助成」の関心・期待度・ニーズと取組満足度はともに低い。

5. 評価を踏まえた今後の方向性

今後の方向性

- ・施策全体の方向性としては、妊娠・出産を望むすべての人が安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めるため、施策のニーズ把握を行いながら、必要な支援を行える体制を整えていく。

1. 施策の概要

施策シート【15_01】

市民生活部、福祉事務所、子ども未来部、総合教育部、学校教育部

施策名称		子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくり			
総合計画体系	基本目標等	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心をはぐくむまち			
	施策目標等	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち			
めざす姿（主観的満足度）		安心して子育てできる環境が整っている			
概要		子どもの心身の健やかな育ちを支援するとともに、保護者のさまざまなニーズに応じて、子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくりを進める。			
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	1. 保育所（園）のサービス充実 （1）定員増や利用調整の見直し （2）きょうだい別々の保育所を解消 （3）午睡用ふとんの持ち運びの負担解消 2. 幼稚園の利用充実 （1）お弁当づくりの負担を解消 （2）預かり保育の拡充 ○1園で預かり保育の定員を拡充 3. 障害児受け入れ拡充 ○補助対象園児の拡充	1. 保育所（園）のサービス充実 （1）定員増や利用調整の見直し ○東部エリアでの臨時保育室開設・運営開始 （3）午睡用ふとんの持ち運びの負担解消 ○公立私立保育所園で本格導入 （4）保育ドキュメンテーション機能の導入 ○10月ごろに新機能によるサービス開始 2. 幼稚園の利用充実 （2）預かり保育の拡充 ○3園で預かり保育の定員拡充 （3）保育ドキュメンテーション機能の導入 ○10月ごろに新機能によるサービス開始	1（1）. 保育所（園）のサービス充実（定員増や利用調整の見直し） ○10月頃からさだ西小規模保育施設の開設		
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	4. 医療的ケア児受け入れ先の拡充 （1）職員加配 ○令和6年10月～配置 （2）放課後デイなど ○通所支援事業の実施 5. 乳幼児の健診・相談 6. 身体障害児等の健診・相談 7. 小学校の給食無償化 ○2学期から実施 8. 児童手当の拡充 ○12月支給分から第3子以降の増額等開始 9. 放課後の安全・安心な居場所の確保 （1）土曜日の留守家庭児童会室の開室、放課後オープンスクエアの実施時間延長 （2）留守家庭児童会室の三季休業期間の昼食提供 10. 「枚方市子ども・若者総合計画」の策定	5. 乳幼児の健診・相談 ○標準化システムの導入 ○5歳児健康診査の導入 9. 放課後の安全・安心な居場所の確保 （1）土曜日の留守家庭児童会室の開室、放課後オープンスクエアの実施時間延長 ○土曜日開室日数の増加 ○土曜日の放課後事業のあり方を検証 （2）留守家庭児童会室の三季休業期間の昼食提供 ○三季休業期の昼食提供の開始 （3）留守家庭児童会室の整備 ○個別の施設計画の策定 11. 障害児保育補助の拡充 12. 1号教育認定こどもに対する障害児保育補助制度の創設	9（2）. 留守家庭児童会室の三季休業期間の昼食提供 ○支援の実施 12. 1号教育認定こどもに対する障害児保育補助制度の創設 ○1号教育認定こどもに対する障害児保育補助制度の創設		

2. 市民満足度、取り組み実績および施策指標の分析

市民満足度の分析

【満足度32.5%】

- ・年代別では、最も高いのは30歳台で61.5%、最も低いのは70歳台で23.7%であった。
- ・昨年度と比較すると、全体では15.9ポイント減少しているが、若者世代（24歳以下）では2.6ポイントの減少に留まった。

取り組み実績および施策指標の分析

【取り組み実績】

- ・施策の進捗としては、すべての取り組みが計画通りに進めることができおり、目標達成に向け推進している。

【施策指標】

- ・「児童発達支援及び放課後等デイサービスを利用する医療的ケア児等の実人数」や「乳幼児健康診査の受診率」など未達成だが、目標には近づいている。それ以外の指標については、指標を達成している。
- ・「在園児加点等対象者の内定率」や「児童発達支援及び放課後等デイサービスを利用する医療的ケア児等の実人数」、「乳幼児健康診査の受診率」、「留守家庭児童会室の待機児童数（4月1日時点）」、「5歳児健康診査受診率」など未達成である。
- ・それ以外の指標については、指標を達成している。

3. 具体的な取り組みの進捗と施策指標の実績

施策シート【15_01】－ 具体的な取り組み

市民生活部、福祉事務所、子ども未来部、総合教育部、学校教育部

施策名称	子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくり
------	--------------------------

1（１）．保育所（園）のサービス充実（定員増や利用調整の見直し）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
保育の必要な家庭が保育を利用できるように利用調整方法を見直し。保育所（園）の受入枠の有効活用。保育ニーズに対応する。	・見直し後の方法により利用調整を実施 ・東部エリアでの臨時保育室開設に向けた準備・整備	東部エリアでの臨時保育室開設・運営開始	継続 ・令和10年度定員増に向けた川越保育園の整備 ・10月頃からさだ西小規模保育施設の開設 ・認定こども園移行及び臨時保育室定員増	継続	私立保育幼稚園課、保育幼稚園入園課、公立保育幼稚園課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
保護者や保育所（園）から寄せられる様々な意見を踏まえ、より良い利用調整方法となるよう引き続き検討を行う。 令和6年4月国定義の待機児童は0人を達成したが、希望する施設を利用できていない児童は前年度から増加しており、引き続き待機児童の解消が図られるよう、既存施設の活用を図るなど、様々な手法により取り組みを進めていく。	・見直し後の方法により利用調整を実施した。 ・東部エリアにおいて新たに臨時保育室を開設するため、民間保育施設への意向調査や現地確認を行い、徳風保育園の保育室を活用し開設することを決定し、令和7年4月開設に向けた準備・整備を行った。	令和6年度より開設の準備・整備を行っていた東部エリアの徳風保育園の保育室を活用した徳風臨時保育室を開設・運営を開始した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【15_01】－ 施策指標

市民生活部、福祉事務所、子ども未来部、総合教育部、学校教育部

施策名称	子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくり
------	--------------------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
保育所等利用待機児童数	保育所等利用待機児童数調査要領に基づく待機児童数	0	0	0	0	人	私立保育幼稚園課、保育幼稚園入園課	1（１）．保育所（園）のサービス充実（定員増や利用調整の見直し）
	希望する施設を利用できていない児童数 ※各年度の実績については、翌年4月1日現在の数値になります。	196	176	158	142	人		
各年度の実績		0	0			人	備考	
		197	179			人		
【施策指標の分析 R6】 （保育幼稚園入園課回答）保育所等利用待機児童数調査要領に基づく待機児童数については、既存受入枠の最大限の活用等により、引き続き「0」を達成できた。希望する施設を利用できていない児童197人については、全国的な保育士不足など十分な受入体制を確保できていないことが要因で発生していると考えられる。今後、保育需要などを見極めた検討が必要。 （私立保育幼稚園課回答）保育所等利用待機児童数調査要領に基づく待機児童数は0人を達成した。令和7年4月に東部エリアにて徳風保育園にて臨時保育室を開設することを決定し、開設に向けた準備・整備を行っており、希望する施設を利用できていない児童数が減少するよう取組みを進めていく。							各年度の目標値、実績値については、それぞれ翌年度4月1日時点の値を記載しています。	
【施策指標の分析 R7】保育所等利用待機児童数調査要領に基づく待機児童数については、既存受入枠の最大限の活用等により、引き続き「0」を達成。								

施策シート【15_01】－ 具体的な取り組み

市民生活部、福祉事務所、子ども未来部、総合教育部、学校教育部

施策名称	子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくり
------	--------------------------

1（２）．保育所（園）のサービス充実（きょうだい別々の保育所を解消）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
きょうだい別々の保育所となる世帯を減少させるため、利用調整の基準を見直し。（在園中の兄弟姉妹がいる保育所（園）を希望する場合の調整指数を10点から15点へ充実）	改正後の規則に基づき利用調整を実施	継続	継続	継続	保育幼稚園入園課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
新規入所する場合のきょうだい別々の保育所となる割合は減少したが、既にきょうだいが別園に在籍し転園を希望する場合についても見直しを検討する必要がある。	改正後の規則に基づき利用調整を実施した。	引き続き、令和6年度より改正した規則に基づき利用調整を実施した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
兄弟姉妹がいる世帯の内定率	在園中の兄弟姉妹がいる保育所（園）を希望した場合の内定率（4月1次選考） ※各年度の実績については、翌年4月1日現在の数値になります。	80	85	85	85	%	保育幼稚園入園課	1（2）．保育所（園）のサービス充実（きょうだい別々の保育所を解消）
各年度の実績		83.54	80.77			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 兄弟姉妹が申込する場合の調整指数に、新たに「在園中の兄弟姉妹がある保育所（園）等を希望した場合」の区分を設け指数を加算したことで、内定率の上昇がみられた。								
【施策指標の分析 R7】昨年度に比べ内定率は微減となった。きょうだいの在園状況により当該加点対象となる世帯の申請者数が変動すること、園の受入体制により希望園・希望クラスの受入可能枠が変動することによるものとする。								
在園児加点等対象者の内定率	在園中の兄弟姉妹がいる保育所（園）への転園を希望した場合の内定率（4月1次選考） ※各年度の実績については、翌年4月1日現在の数値になります。	—	50	50	50	%	保育幼稚園入園課	1（2）．保育所（園）のサービス充実（きょうだい別々の保育所を解消）
各年度の実績		48.15	27.03			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 転園申込する場合に設定している利用調整指数の上限150点について、兄弟姉妹が在籍する保育所（園）のみを希望する場合には適用せず、当該世帯の就労等の要件に応じた指数を付与するように見直した。これにより、通常の転園申込に比べ高い内定率となった。								
【施策指標の分析 R7】昨年度に比べ内定率は減少した。きょうだいの在園状況により当該加点対象となる世帯の申請者数が変動すること、園の受入体制により希望園・希望クラスの受入可能枠が変動することによるものとする。								

施策名称	子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくり
------	--------------------------

1（3）．保育所（園）のサービス充実（午睡用ふとんの持ち運びの負担解消）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
保育所に通う子どもの午睡用ふとんの持ち運びに伴う負担を解消。	・ふとんの定額サービスの導入に向けた保護者アンケート（公立保育所）を実施し、その結果をもとに仕様を確定 ・保護者会が事業者を決定、公立保育所において定額サービス開始 ・私立保育所（園）に情報提供	公立・私立保育所（園）で必要な保護者及び法人において定額サービスを本格実施	継続	継続	公立保育幼稚園課、私立保育幼稚園課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
全ての公立保育所においてふとんの定額サービスを導入する。 公立保育所における実施状況を踏まえ、私立保育所（園）の保護者への負担軽減策を検討する。	・条件が整った一部の公立保育所から、定額サービスを先行実施した。（導入数：8園） ・公立保育所における試行実施の状況を私立保育所（園）等へ情報提供を行った。	・全ての公立保育所において、定額サービスを本格実施した。			
年度ごとの達成状況	○	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
午睡用寝具のリースを導入した保育所等の数	午睡用寝具のリースを導入した公立保育所、公立小規模保育施設及び公立臨時保育室の数（令和6年度のみ試行実施した保育所等の数）	6	14	14	14	園	公立保育幼稚園課、私立保育幼稚園課	1（3）．保育所（園）のサービス充実（午睡用ふとんの持ち運びの負担解消）
各年度の実績		8	14			園		備考
【施策指標の分析 R6】 （公立）目標を達成した。 （私立）公立保育所でのみ実施したため、私立保育所としての実績はない。								
【施策指標の分析 R7】 目標を達成した。								

施策シート【15_01】－ 具体的な取り組み

市民生活部、福祉事務所、子ども未来部、総合教育部、学校教育部

施策名称	子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくり
------	--------------------------

1（４）．保育所（園）のサービス充実（保育ドキュメンテーション機能の導入）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
保育業務支援システムに保育ドキュメンテーション機能を追加し、毎日保護者と園の間でやりとりしている連絡帳や、写真や動画を用いたお便りを保護者アプリ上で発信する。	—	・10月ごろに新機能によるサービス開始	継続実施	継続実施	公立保育幼稚園課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
令和7年10月より、園、保護者ともに円滑な導入ができており、継続的に運用する。今後の課題として、ドキュメンテーション機能のさらなる活用に向けた環境整備が必要である。	—	10月より新機能によるサービスを開始した。			
年度ごとの達成状況		◎			

施策シート【15_01】ー 施策指標

市民生活部、福祉事務所、子ども未来部、総合教育部、学校教育部

施策名称	子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくり
------	--------------------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
保育所から保護者への情報発信数	保護者アプリへ発信した情報の数	—	2,000	6,000	8,000	件	公立保育幼稚園課	1（４）．保育所（園）のサービス充実（保育ドキュメンテーション機能の導入） 2（３）．幼稚園の利用充実（保育ドキュメンテーション機能の導入）
各年度の実績		—	3992			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 —								
【施策指標の分析 R7】 保育ドキュメンテーションの導入を円滑に実施できたことで、目標値を上回る情報発信を実現できた。								
事務負担が軽減されたと感じる職員の割合	帳票の作成を行う職員のうちDX化により事務負担が軽減されたと感じる割合。	—	60	65	70	%	公立保育幼稚園課	1（４）．保育所（園）のサービス充実（保育ドキュメンテーション機能の導入） 2（３）．幼稚園の利用充実（保育ドキュメンテーション機能の導入）
各年度の実績		—	71.4			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 —								
【施策指標の分析 R7】 職員アンケートでは導入の効果を感じないと回答する職員も一部いるが、7割以上の職員が効果があったと回答があり、目標値を達成した。								

施策シート【15_01】－ 具体的な取り組み

市民生活部、福祉事務所、子ども未来部、総合教育部、学校教育部

施策名称	子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくり
------	--------------------------

2（１）．幼稚園の利用充実（お弁当づくりの負担を解消）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
幼稚園給食の更なる充実	・実施手法の検討 ・枚方幼稚園における預かり保育の定員拡充(試行)にあわせた食数増を10月を目途に実施 ・保護者に対するニーズ調査を継続して実施	・ニーズのある他の公立幼稚園においても給食を拡充 ・調理能力についての確認や必要な工事等の実施 ・保護者に対するニーズ調査を継続して実施	継続	継続	公立保育幼稚園課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
枚方幼稚園での試行実施結果を踏まえ、他園での実施について検討する。	・11月から枚方幼稚園で食数の増加を行った。	枚方幼稚園での試行実施を継続して行った。			
年度ごとの達成状況	◎	○			

※関連指標なし

施策シート【15_01】ー 具体的な取り組み

市民生活部、福祉事務所、子ども未来部、総合教育部、学校教育部

施策名称	子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくり
------	--------------------------

2（２）．幼稚園の利用充実（預かり保育の拡充）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
保護者の子育て支援及び就労支援の充実を図ため、幼稚園で一時預かりを実施。	10月から枚方幼稚園で預かり保育の定員を拡充（試行実施）及び検証	香里幼稚園、樟葉幼稚園、高陵幼稚園でも預かり保育の定員の拡充を検討・実施	継続	継続	公立保育幼稚園課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
枚方幼稚園での試行実施結果を踏まえ、他園での実施について検討する。	・10月から枚方幼稚園で預かり保育の定員を拡充した。	枚方幼稚園での試行実施を継続して行った。			
年度ごとの達成状況	◎	○			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
保護者のニーズ（申し込み）に対する預かり保育の実施割合	「預かり保育の年間延べ申込人数（定員を超えた申込があった場合に抽選から外れて利用できなかった人数を含む）」に対する「預かり保育の年間延べ利用人数」の割合	100	100	100	100	%	公立保育幼稚園課	2（２）．幼稚園の利用充実（預かり保育の拡充）
各年度の実績		98.6	97.6			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 預かり保育のニーズは増加傾向にある中で、令和6年10月より枚方幼稚園において預かり保育の上限人数を35人から45人への拡大を試行実施したこともあり、前年度比で0.3ポイントの増加となった。								
【施策指標の分析 R7】 枚方幼稚園の上限人数を拡充したが、そのほかの園で預かり保育のニーズが増加したため、前年度比で1.0ポイントの減少となった。								

施策シート[15_01]－ 具体的な取り組み

市民生活部、福祉事務所、子ども未来部、総合教育部、学校教育部

施策名称	子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくり
------	--------------------------

2（3）．幼稚園の利用充実（保育ドキュメンテーション機能の導入）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
保育業務支援システムに保育ドキュメンテーション機能を追加し、毎日保護者と園の間でやりとりしている連絡帳や、写真や動画をういたお便りを保護者アプリ上で発信する。	－	・10月ごろに新機能によるサービス開始	継続実施	継続実施	公立保育幼稚園課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
令和7年10月より、園、保護者ともに円滑な導入ができており、継続的に運用する。今後の課題として、ドキュメンテーション機能のさらなる活用に向けた環境整備が必要である。	－	10月より新機能によるサービスを開始した。			
年度ごとの達成状況		◎			

施策シート【15_01】ー 施策指標

市民生活部、福祉事務所、子ども未来部、総合教育部、学校教育部

施策名称	子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくり
------	--------------------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
保育所から保護者への情報発信数	保護者アプリへ発信した情報の数	—	2,000	6,000	8,000	件	公立保育幼稚園課	1（４）．保育所（園）のサービス充実（保育ドキュメンテーション機能の導入） 2（３）．幼稚園の利用充実（保育ドキュメンテーション機能の導入）
各年度の実績		—	3992			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 —								
【施策指標の分析 R7】 保育ドキュメンテーションの導入を円滑に実施できたことで、目標値を上回る情報発信を実現できた。								
事務負担が軽減されたと感じる職員の割合	帳票の作成を行う職員のうちDX化により事務負担が軽減されたと感じる割合。	—	60	65	70	%	公立保育幼稚園課	1（４）．保育所（園）のサービス充実（保育ドキュメンテーション機能の導入） 2（３）．幼稚園の利用充実（保育ドキュメンテーション機能の導入）
各年度の実績		—	71.4			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 —								
【施策指標の分析 R7】 職員アンケートでは導入の効果を感じないと回答する職員も一部いるが、7割以上の職員が効果があったと回答があり、目標値を達成した。								

施策シート【15_01】－ 具体的な取り組み

市民生活部、福祉事務所、子ども未来部、総合教育部、学校教育部

施策名称	子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくり
------	--------------------------

3. 障害児受け入れ拡充

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
障害児への加配職員体制の充実を目的とし、補助対象園児（難病指定の園児）を拡充。	補助対象園児の拡充	継続	継続	継続	私立保育 幼稚園課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
引き続き、加配が必要な難病指定の園児等を1人でも多く受け入れられるよう環境整備に努める。	対象となる園児の加配認定を行い、受入を行った施設への補助を実施した。	対象となる園児の加配認定を行い、受入を行った施設への補助を実施した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

※関連指標なし

施策シート【15_01】－ 具体的な取り組み

市民生活部、福祉事務所、子ども未来部、総合教育部、学校教育部

施策名称	子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくり
------	--------------------------

4（１）．医療的ケア児受け入れ先の拡充（職員加配）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
公立保育所等の正規看護師を複数名確保し、医療的ケア児の入所があった際に加配職員として配置する。	令和6年10月～配置	継続	継続	継続	公立保育 幼稚園課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
医療的ケア児の受入れにあたって、看護師等の加配が必要である。引き続き、職員の確保に努める。	次年度の受入れに向けた非正規看護師の採用を行った。	次年度の受入れに向けた非正規看護師の採用を行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

※関連指標なし

施策シート【15_01】ー 具体的な取り組み

市民生活部、福祉事務所、子ども未来部、総合教育部、学校教育部

施策名称	子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくり
------	--------------------------

4（２）．医療的ケア児受け入れ先の拡充（放課後デイなど）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
児童発達支援及び放課後等デイサービス事業所における看護師の配置を促進し、医療的ケア児等の受け入れ先を拡充する。	看護師配置に係る費用助成として、医療的ケア児等通所支援事業を実施	継続	継続	—	障害支援課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
本市のみならず看護師の人材不足が課題であるが、引き続き事業所における看護師配置の費用負担の軽減を図り、受け入れ先の拡充を図る。	市内事業所 1 か所に費用助成を行い、医療的ケア児 5 名の受け入れに繋がった。	市内事業所 1 か所に費用助成を行い、医療的ケア児 11 名の受け入れに繋がった。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
児童発達支援及び放課後等デイサービスを利用する医療的ケア児等の実人数	児童発達支援及び放課後等デイサービスを利用する医療的ケア児等の実人数	60	62	64	66	人	障害支援課	4（２）．医療的ケア児受け入れ拡充（放課後デイなど）
各年度の実績		51	58			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 前年度と比較して医療的ケア児の人数そのものが減少したため、比例して利用者数も想定していた数値を下回ったものと考えられる。								
【施策指標の分析 R7】 医療的ケア児の人数は前年度から横ばいで推移する中、受け入れ環境の整備等により、前年度より利用者が増加したものと考えられる。								

施策名称	子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくり
------	--------------------------

5. 乳幼児の健診・相談

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
乳幼児に対して、各時期の健康診査及び新生児聴覚検査の費用助成を行うことで、疾病や障害の早期発見・早期対応を図るとともに、保護者に対して子育てに関する相談・保健指導を実施。	・市民の利便性の向上を図るため、令和6年度前期に③街区こども家庭センターでの乳幼児健診を開始 ・感染症対策、安全対策を徹底し、安心して利用してもらえる体制で実施	・DX化の推進を図るため、国の標準化システムを導入 ・引き続き、感染症対策、安全対策を徹底し、安心して利用してもらえる体制で実施 ・5歳児健康診査の導入	国の動向を注視し、引き続き、感染症対策、安全対策を徹底し、安心して利用してもらえる体制で実施	継続	まるっとこどもセンター
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
国の標準化システムの導入に伴い、問診票・加付を改訂を行う予定。R7年10月～5歳児健康診査の開始に向けて関係機関との調整や健診内容を具体的に決めるなどの準備を進める。	令和6年9月に市駅前行政サービスセンターでの健診開始。移転に伴う案内周知に努めた。	令和7年10月に5歳児健康診査を開始。問診票・加付の改訂を行い、令和8年4月より運用開始待ち。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
乳幼児健康診査の受診率	1歳6か月児健康診査受診児の人数／全1歳6か月児の人数	97.5	98.0	98.0	98.0	%	まるっとこどもセンター	5. 乳幼児の健診・相談
各年度の実績		94.3	94.3			%	備考	
【施策指標の分析 R6】移転の効果か、9月から3か月間の受診率が98%を超えた。しかし12月に入りインフルエンザが警報レベルを大きく超える状況になり、受診キャンセルが相次いだ影響で最終的に例年通りの受診率となった。								
【施策指標の分析 R7】年度初めに前年度からの振替者が多数受診したことや、今年度はインフルエンザの流行が例年よりも早く、かつ長期化したが、あまり大きな影響を受けなかったことから、受診率は前年度より上昇した。								
5歳児健康診査受診率	受診対象となった児における5歳児健康診査受診率	—	75	75	80	%	まるっとこどもセンター	5. 乳幼児の健診・相談
各年度の実績		—	41.2			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 —								
【施策指標の分析 R7】 11月頃よりインフルエンザ等感染症流行のため、体調不良による当日キャンセルが相次いだことが受診率に影響があった。対象となったが、健診受診につながらない児については、別途個別相談や保健師による支援に繋げている。								

施策シート【15_01】－ 具体的な取り組み

市民生活部、福祉事務所、子ども未来部、総合教育部、学校教育部

施策名称	子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくり
------	--------------------------

6. 身体障害児等の健診・相談

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
身体障害児及び長期療養児に対し、医師など専門職による健康診査及び相談を実施。また、在宅指導が必要な児に対して、保健師等が訪問指導による相談を実施。	・国の動向を注視し、小児慢性特定疾病児童等の状況把握に努める ・感染症対策、安全対策を徹底し、安心して利用してもらえる体制で実施	継続	継続	継続	まるっとこどもセンター
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
国は小児慢性特定疾病児童等自立支援事業の充実を推進しており、本市においても自立支援事業の充実に取り組む。	小児慢性特定疾病児童の実態把握のため全数アンケートを開始。療育相談では休止していた保育に関する相談を再開した。	小児慢性特定疾病児童等自立支援事業の相互交流支援事業として「カワセミ交流会」を実施した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
療育相談利用者の満足度	【算出式：満足と回答した人／利用者】	100	100	100	100	%	まるっとこどもセンター	6. 身体障害児等の健診・相談
各年度の実績		100	97.8			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 全体の利用者で回答のあった者のうち、満足と回答した人は100%で満足度は高かった。								
【施策指標の分析 R7】 全体の利用者で回答のあった者のうち、満足と回答した人は97.8%で高値を維持できている。								

施策シート[15_01]－ 具体的な取り組み

市民生活部、福祉事務所、子ども未来部、総合教育部、学校教育部

施策名称	子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくり
------	--------------------------

7. 小学校の給食無償化

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
子育て世代の経済的負担軽減のため、小学校給食の無償化を実施するもの。	小学校給食の無償化を2学期から実施	継続	継続	継続	おいしい給食課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
今後も継続して小学校給食の無償化を実施する。 また、給食非喫食者に対しての補助の実施に向けた取り組みを進める。	小学校給食の無償化を2学期から実施した。	令和7年度においても、小学校給食の無償化を継続して実施した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

※関連指標なし

施策シート[15_01]－ 具体的な取り組み

市民生活部、福祉事務所、子ども未来部、総合教育部、学校教育部

施策名称	子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくり
------	--------------------------

8. 児童手当の拡充

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①対象児童の延長（15歳→18歳）、②所得制限の撤廃、③第3子以降の増額（15,000円→30,000円）第3子カウント対象児童延長（高校生年代→大学生年代、④支給回数増加（年6回）を内容とする法改正に対応し手当支給を拡充。	・左記改正に伴うシステムの改修 ・制度改正の周知 ・申請勧奨 ・新規認定申請受理 ・額改定及び認定作業 ・12月支給（10・11月分）	継続	継続	継続	医療助成・児童手当課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
広報、HPでの周知を行ってきたが、未申請世帯があるため引き続き制度改正の周知を行う。	制度改正について、現受給者及び18歳以下の子がいる世帯へのお知らせにおいて、手続きが必要な世帯への申請勧奨を行い、新規受給者を含め、制度改正による支給を行った。	広報・HPで制度改正について周知を行い、未申請世帯からの手続きを受け、支給を行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

※関連指標なし

施策名称	子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくり
------	--------------------------

9（１）．放課後の安全・安心な居場所の確保（土曜日の留守家庭児童会室の開室、放課後オープンスクエアの実施時間延長）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
就学以降も切れ目ない支援・サービスのさらなる充実を図るため、土曜日の留守家庭児童会室の開室日数の増加や放課後オープンスクエアの実施時間の延長を利用ニーズに応じて検討。	・ニーズ調査 ・実施手法の検討 ・児童の放課後対策審議会での検討	留守家庭児童会室の土曜日開室日数を利用希望に応じて増加。利用実態等を検証し、今後の土曜日の放課後事業のあり方を検証。	継続	継続	放課後子ども課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
全留守家庭児童会室において、利用者の希望に応じた土曜日開室の試行実施を継続する。利用状況や運営体制を検証し、検証結果を踏まえた制度設計を行う。	児童の放課後を豊かにする行動計画に係るアンケート結果や土曜日の放課後オープンスクエアの利用実態からニーズを把握し、実施手法の検討を行った	令和7年7月より入室者の事前申し込み制による土曜日開室を実施。利用者数や開室状況等利用実態の検証を行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
留守家庭児童会室と枚方子どもいきいき広場を利用する児童と保護者に対するアンケートの満足度の割合	アンケートにより満足度（％）を測定	80	85	95	95	％	放課後子ども課	9（１）．放課後の安全・安心な居場所の確保（土曜日の留守家庭児童会室の開室、放課後オープンスクエアの実施時間延長） 9（２）．放課後の安全・安心な居場所の確保（留守家庭児童会室の三季休業期間の昼食提供）
各年度の実績		84.5	95.3			％	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和6年度のアンケート結果では満足度の指標を達成することができた。今後は、さらなる満足度の向上のため、保護者ニーズにあった事業の充実や施設等の環境整備など児童の放課後を豊かにする行動計画に基づく取り組みを進める。								
【施策指標の分析 R7】 令和7年度のアンケート結果では満足度の指標を達成することができた。今後も、児童の放課後を豊かにする行動計画に基づき、保護者ニーズにあった事業の充実や施設等の環境整備などの取り組みを進める。								

施策シート【15_01】ー 具体的な取り組み

市民生活部、福祉事務所、子ども未来部、総合教育部、学校教育部

施策名称	子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくり
------	--------------------------

9（２）．放課後の安全・安心な居場所の確保（留守家庭児童会室の三季休業期間の昼食提供）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
就学以降も切れ目のない支援・サービスのさらなる充実を図るため、利用ニーズに応じて留守家庭児童会室の三季休業期間の昼食提供サービスを実施。 安全・安心で気軽に立ち寄ることができる学校を拠点とした昼食サービスを活用し、家庭で十分な食事を取れない児童への支援として、お弁当事業者と委託契約を締結し昼食代を負担する。	・先進事例の調査研究 ・ニーズ調査、サウンディング調査等実施手法の検討 ・児童の放課後対策審議会での検討	三季休業期の昼食提供開始	拡充 (支援の実施)	継続	放課後子ども課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
引き続き全小学校で実施できるよう、安定的な食数確保と価格低減に向けた事業者調整などの取り組みを行うとともに、この仕組みを活用して三季休業期に欠食リスクを抱える児童に対して昼食を提供し、安心できる居場所の中で子どもの様子を見守り、必要な支援につなげる。	公民連携プラットフォームの仕組みを利用し、夏季休業期は11校、冬季休業期は24校にて昼食提供サービスを試行実施した。	お弁当事業者の登録を拡大し、夏季休業期から全校展開を行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
留守家庭児童会室と枚方子どもいきいき広場を利用する児童と保護者に対するアンケートの満足度の割合	アンケートにより満足度（％）を測定	80	85	95	95	％	放課後子ども課	9（１）．放課後の安全・安心な居場所の確保（土曜日の留守家庭児童会室の開室、放課後オープンスクエアの実施時間延長） 9（２）．放課後の安全・安心な居場所の確保（留守家庭児童会室の三季休業期間の昼食提供）
各年度の実績		84.5	95.3			％	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和6年度のアンケート結果では満足度の指標を達成することができた。今後は、さらなる満足度の向上のため、保護者ニーズにあった事業の充実や施設等の環境整備など児童の放課後を豊かにする行動計画に基づく取り組みを進める。								
【施策指標の分析 R7】 令和7年度のアンケート結果では満足度の指標を達成することができた。今後も、児童の放課後を豊かにする行動計画に基づき、保護者ニーズにあった事業の充実や施設等の環境整備などの取り組みを進める。								
昼食サービスの利用率の向上	総注文食数／延べ登室（参加）人数	—	—	12	12	％	放課後子ども課	9（２）．放課後の安全・安心な居場所の確保（留守家庭児童会室の三季休業期間の昼食提供）
各年度の実績		—	8.5			％	備考	
【施策指標の分析 R6】 —								
【施策指標の分析 R7】 利用率は高くはないものの、昼食の選択肢として事業継続を求める声が多い。引き続き全小中学校で実施できるよう、安定的な食数確保と価格低減に向けた事業者調整などの取り組みを行うとともに、この仕組みを活用して三季休業期に欠食リスクを抱える児童に対して昼食を提供し、安心できる居場所の中で子どもの様子を見守り、必要な支援につなげる。							令和7年度に新規設定	

施策シート【15_01】－ 具体的な取り組み

市民生活部、福祉事務所、子ども未来部、総合教育部、学校教育部

施策名称	子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくり
------	--------------------------

9（３）．放課後の安全・安心な居場所の確保（留守家庭児童会室の整備）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
個別の施設計画に基づく留守家庭児童会室の建替え・建て増し及び学校施設の活用による整備	—	個別の施設計画の策定	可能性調査実施方針の決定	設計・施工発注	放課後子ども課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
留守家庭児童会室の整備の方向性と優先順位を明らかにした個別の施設計画を策定し、そこで対応が必要と判断された施設について可能性調査を実施し、調査結果を踏まえて増設等を行う。		各施設の整備の優先順位と方向性を整理した「枚方市留守家庭児童会室個別施設計画」を策定した。			
年度ごとの達成状況		◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
必要保育面積の確保	保育面積充足率(保育面積／必要保育面積×100)	—	100	100	100	%	放課後子ども課	9（３）．留守家庭児童会室の整備
各年度の実績		—	100			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 —								
【施策指標の分析 R7】 保育面積充足率の全室平均は目標値の100%を満たしているが、一部の室においては、過密化により充足率の目標値を満たしていない。今後は、各施設の整備の優先順位と方向性を整理した「枚方市留守家庭児童会室個別施設計画」に基づき、建替え等の対応が必要な施設の可能性調査を実施し、各施設の整備方法等を検討する。							令和7年度に新規設定	

施策シート【15_01】－ 具体的な取り組み

市民生活部、福祉事務所、子ども未来部、総合教育部、学校教育部

施策名称	子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくり
------	--------------------------

10. 「枚方市子ども・若者総合計画」の策定

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
子ども・子育て施策を一体的に取り組むことのできるよう、本市の子ども・若者等に関する計画を内包する「枚方市子ども・若者総合計画」を策定。	令和6年度末までに「枚方市子ども・若者総合計画」を策定。	—	—	—	子ども青少年政策課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
策定した「枚方市子ども・若者総合計画」に基づき、今後、各施策を推進する。	令和6年度末に「枚方市子ども・若者総合計画」を策定した。	令和7年4月からは「枚方市子ども・若者総合計画」において各取り組みを推進した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

※関連指標なし

施策シート【15_01】－ 具体的な取り組み

市民生活部、福祉事務所、子ども未来部、総合教育部、学校教育部

施策名称	子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくり
------	--------------------------

11. 障害児保育補助の拡充

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
支給認定区分が2・3号の障害をもつ児（障害保育制度利用、特例加配制度利用）を受け入れる施設に対し、加配保育士等の人件費を補助する。	子ども・子育て支援事業補助金の交付	私立園での障害児の受け入れ体制の整備のため、補助制度の拡充	拡充後の制度で継続	継続	私立保育幼稚園課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
公私立問わず、障害のある子どもが希望する保育施設へ入所できるよう受入環境の整備に努める。	公立の保育補助者と同等の人件費分を補助できるよう、補助基準額を増加させ障害児保育補助制度の拡充を図る。	補助基準額を増加させ、障害児の受入を行った施設への補助を実施した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
私立園での障害児等の受け入れ人数	私立園での障害児等の受け入れ人数 ※各年度の実績については、翌年4月1日現在の数値になります。	—	156	161	165	人	私立保育幼稚園課	11. 障害児保育補助の拡充
各年度の実績		152	175			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和7年度以降の補助基準額の見直しを行っているため、令和6年度実績としては前年度並みの数値となった。								
【施策指標の分析 R7】 令和7年度より補助基準額の見直しを行ったため、令和7年度実績として、障害児等の受け入れ人数は増加した。								

施策シート【15_01】－ 具体的な取り組み

市民生活部、福祉事務所、子ども未来部、総合教育部、学校教育部

施策名称	子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくり
------	--------------------------

12. 1号教育認定こどもに対する障害児保育補助制度の創設

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
支給認定区分が1号の障害をもつ児及び医療的ケアを要する児を受け入れる施設に対し、加配職員の人件費を補助する。	—	—	1号教育認定こどもに対する障害児保育補助制度の創設	継続実施	私立保育幼稚園課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
2・3号の障害児制度利用児を受け入れた場合と同等の補助を行うことにより、公私立問わず1号児の障害のある子どもが希望する施設へ入園できるよう、受入環境の整備に努める。	—	制度の創設に向けた制度設計を行った			
年度ごとの達成状況		◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
活用予定施設における実績率	補助制度の活用を予定していた施設のうち、実施の実績報告を受けた割合	—	—	100	100	%	私立保育幼稚園課	12. 1号教育認定こどもに対する障害児保育補助制度の創設
各年度の実績		—	—			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 —								
【施策指標の分析 R7】 —							令和7年度に新規設定	

取り組みには紐づかない施策指標

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
児童発達支援利用者数	就学前の障害児を対象に日常生活の基本的な動作や集団生活への適応の訓練を行う児童発達支援の実利用者数（一月あたり）	390	468	561	673	人	障害支援課	-
各年度の実績		494	501			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 サービス利用について広く周知が進み、ニーズの高まりやサービス提供事業所数の増加により実績は増加傾向にある。								
【施策指標の分析 R7】 サービス利用について広く周知が進み、ニーズの高まりやサービス提供事業所数の増加により実績は年々増加傾向にある。								
放課後等デイサービス利用者数	学校通学中の障害児を対象に放課後や長期休暇中に生活力向上の訓練を行う放課後等デイサービスの実利用者数（一月あたり）	1,290	1,420	1,562	1,718	人	障害支援課	-
各年度の実績		1,352	1,463			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 サービス利用について広く周知が進み、ニーズの高まりやサービス提供事業所数の増加により実績は増加傾向にある。								
【施策指標の分析 R7】 サービス利用について広く周知が進み、ニーズの高まりやサービス提供事業所数の増加により実績は年々増加傾向にある。								

取り組みには紐づかない施策指標

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
留守家庭児童会室の待機児童数（4月1日時点）	4月1日時点での留守家庭児童会室の待機児童数	0	0	0	0	人	放課後子ども課	—
各年度の実績		12	7			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和5年度から留守家庭児童会室と放課後オープンスクエアを一体的に運営する総合型放課後事業を実施し、児童の居場所の選択肢が増えたことにより、待機児童数は減少している。4月1日時点では待機児童が発生していたが、利用調整を行い6月には解消することができた。								
【施策指標の分析 R7】 令和6年度に引き続き、待機児童は減少している。4月1日時点では待機児童数が発生していたが、利用調整を行い7月には解消することができた。								

4. 取組満足度と関心・期待度・ニーズの4象限マトリクス分析

関心・期待度・ニーズが高い

安心して子育てできる環境
15_01 子どもが安心して教育・
保育を受けられる環境づくり

施策満足度

満足	不満足	どちらとも いえない わからない
32.5%	7.0%	60.5%

「決め手となった取り組みはない」と
回答した人

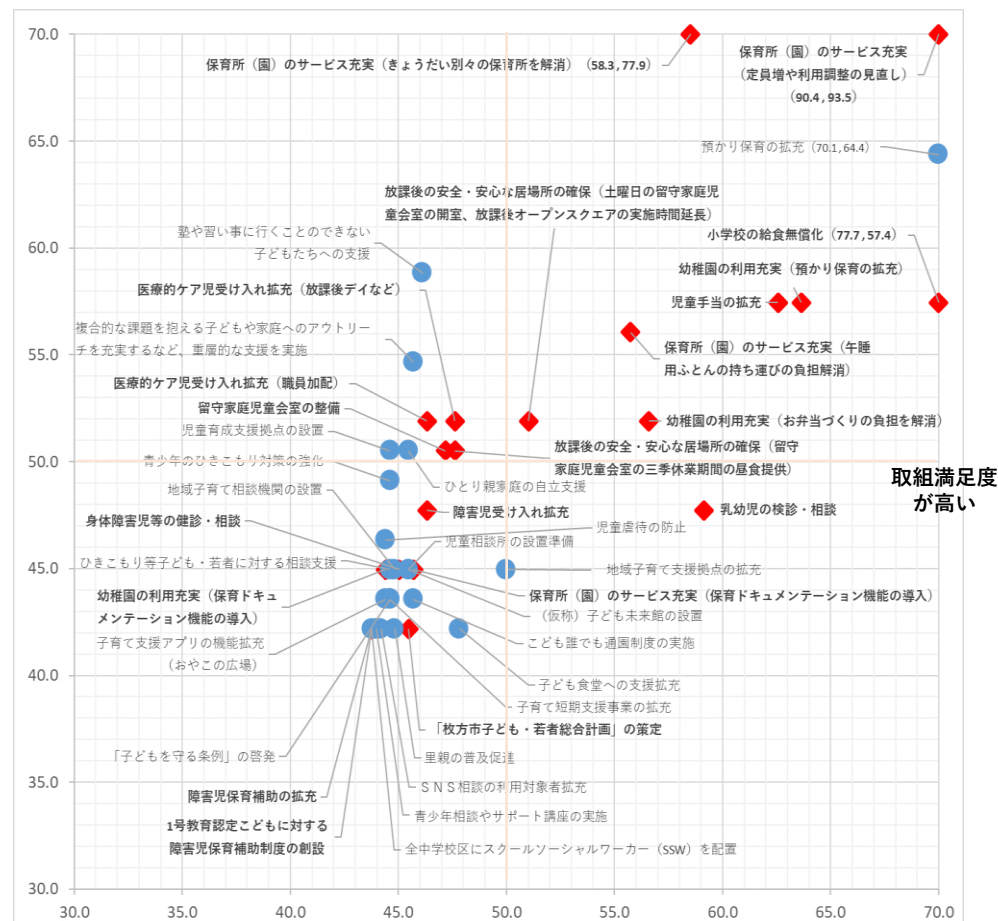
41.9%

※回答数／全体数1,762

※満足の定義は、「感じている」「やや感
じている」を選択した人

不満足の定義は、「あまり感じていな
い」「感じていない」を選択した人

※各施策における取組満足度や関心・期待・
ニーズを分析するものであり、異なる施策
間での比較を行うものではありません。



施策の分析

- ・「1. 保育所(園)のサービス充実(1) 定員増や利用調整の見直し、(2) きょうだい別々の保育所を解消、(3) 午睡用ふとんの持ち運びの負担解消」、「2. 幼稚園の利用充実(2) 預かり保育の拡充」、「7. 小学校の給食無償化」、「8. 児童手当の拡充」の関心・期待度・ニーズと取組満足度はともに高い。
- ・「2. 幼稚園の利用充実(1) お弁当づくりの負担を解消」、「5. 乳幼児の健診・相談」の取組満足度は高く、関心・期待度・ニーズは平均的である。
- ・「3. 障害児受け入れ拡充」、「4. 医療的ケア児受け入れ拡充(1) 職員加配、(2) 放課後デイなど」、「6. 身体障害児等の健康診査・相談」、「9. 放課後の安全・安心な居場所の確保(1) 土曜日の留守家庭児童会室の開室、放課後オープンスクエアの実施時間延長(2) 留守家庭児童会室等の三季休業期間の昼食提供(3) 留守家庭児童会室の整備」の取組満足度と関心・期待度・ニーズはともに平均的である。
- ・「1. 保育所(園)のサービス充実(4) 保育ドキュメンテーション機能の導入」、「2. 幼稚園の利用充実(3) 保育ドキュメンテーション機能の導入」の取組満足度は低い、関心・期待度・ニーズは平均的である。
- ・「10. 枚方市子ども・若者総合計画」の策定、「11. 障害児保育補助の拡充」、「12. 1号教育認定こどもに対する障害児保育補助制度の創設」の取組満足度と関心・期待度・ニーズはともに低い。

5. 評価を踏まえた今後の方向性

今後の方向性

- ・施策全体の方向としては、保護者のさまざまなニーズに応じた子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくりを引き続き進める。
- ・夏休みなどの3季休業期間の預かり保育（35人）および公立幼稚園全園における選択制給食（35食）の本格実施や新たな小規模保育施設の開設など、ニーズや実績等を踏まえた検証を行い、待機児童の解消及び就学前児童の保育環境の充実を図る。また、「留守家庭児童会室個別施設計画」に基づき、建替えや増築が必要な施設について、整備手法等の可能性調査を実施していく。放課後の安全・安心な居場所の確保について、利用ニーズ等を踏まえながら、すべての児童が放課後に安心して過ごせる居場所づくりを行う。

6. 施策評価員による評価【外部評価】

施策評価員による評価

- ・財政負担が大きいため、需要と供給の優先順位付けが必要ではないか。「子どもの立場」で何が必要かを再点検すべきではないか。
- ・保育士等の処遇改善や資質向上、働きがいのある職場環境の整備に向けたきめ細やかな支援を期待する。
- ・当該施策に関する取り組みの対象に近い30歳台の満足度は高いが全体の満足度は低下している。要因分析とともに、成果の戦略的発信が課題である。
- ・市のイメージを左右する施策であり、受け入れ側の体制と待遇の整備を並行して進めるべきではないか。
- ・少子化対応や障害児支援は地道な拡充が必要である。ハード・ソフト両面での検討が必要ではないか。

1. 施策の概要

施策シート【15_02】

子ども未来部

施策名称		子育てに対する相談体制及び地域の子育て支援の充実			
総合計画体系	基本目標等	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心をはぐくむまち			
	施策目標等	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち			
めざす姿（主観的満足度）		安心して子育てできる環境が整っている			
概要		子育てに対する相談体制の充実を図るとともに、子育て世帯が交流できる場を確保するなど、地域の子育て支援を進める。			
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	1. 預かり保育の拡充 ○リフレッシュ券の拡充、新たな事業の検討、一時預かり実施施設を2施設追加し16施設で実施	2. 子育て支援アプリの機能拡充（おやこの広場） ○機能拡充後のアプリ運用開始		4. 地域子育て支援拠点の拡充 ○1か所追加	
	2. 子育て支援アプリの機能拡充（おやこの広場）	4. 地域子育て支援拠点の拡充 ○2か所追加		5. 地域子育て相談機関の設置 ○1か所追加	
	3. 子育て短期支援事業の拡充 ○2か所追加	5. 地域子育て相談機関の設置 ○地域子育て支援拠点事業を実施している民間施設において順次運用開始	7. こども誰でも通園制度の実施 ○本格実施	6. （仮称）子ども未来館の設置 ○開設・運営開始	
	4. 地域子育て支援拠点の拡充	6. （仮称）子ども未来館の設置			
	5. 地域子育て相談機関の設置 ○公立施設4施設で地域子育て相談機関の運用開始	7. こども誰でも通園制度の実施			

2. 市民満足度、取り組み実績および施策指標の分析

市民満足度の分析

【満足度32.5%】

- ・年代別では、最も高いのは30歳台で61.5%、最も低いのは70歳台で23.7%であった。
- ・昨年度と比較すると、全体では15.9ポイント減少しているが、若者世代（24歳以下）では2.6ポイントの減少に留まった。

取り組み実績および施策指標の分析

【取り組み実績】

- ・施策の進捗としては概ね達成できている。

【施策指標】

- ・「こども誰でも通園制度の年間延べ利用人数」については、未達成である。それ以外の指標については、指標を達成している。

3. 具体的な取り組みの進捗と施策指標の実績

施策シート【15_02】－ 具体的な取り組み

子ども未来部

施策名称	子育てに対する相談体制及び地域の子育て支援の充実
------	--------------------------

1. 預かり保育の拡充

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①在宅での子育て支援の充実に向け、一時預かり事業の実施施設を2園追加。保護者の就労支援を図り、待機児童解消に資するため、「就労応援型預かり保育」を実施。 ②令和4年9月から導入したリフレッシュ券（※1）の効果検証を行い、検証結果を踏まえ在宅における新たな子育て支援事業を実施。 ※1：一時預かりの周知・利用促進のため、2日間無料券を配付する取り組み。	①一時預かり実施施設を2施設追加し16施設で実施 ②リフレッシュ券の拡充、新たな事業の検討	継続	継続	継続	私立保育幼稚園課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
新たな2施設で「就労応援型預かり保育」を含む一時預かり事業を実施するとともに、今後の利用状況や保育士不足も踏まえ、保護者への必要な支援を検討する。	新たに2施設を加え16施設に拡充した。リフレッシュ券は目標を上回る利用があり、引続き状況を確認していく。（利用件数：784件）	16施設で一時預かり事業を実施した。			
年度ごとの達成状況	○	○			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
リフレッシュ券利用件数	リフレッシュ券を活用した一時預かりの利用件数	720	800	820	840	件	私立保育幼稚園課	1. 預かり保育の拡充
各年度の実績		784	825			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 広報ひらかたや子育て関連情報をまとめた冊子などで情報発信を行い、目標件数を上回ることができた。								
【施策指標の分析 R7】広報誌や市ホームページ等を活用した周知を継続的に実施したことにより、制度認知が進み、利用促進につながった。引き続き情報発信に努め、さらなる利用件数増加を目指す。								

施策名称	子育てに対する相談体制及び地域の子育て支援の充実
------	--------------------------

2. 子育て支援アプリの機能拡充（おやこの広場）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
現在の子育て支援アプリの機能検証等を行い、契約更新と機能追加を一括した効果的なリニューアルを実施。	・各おやこの広場の利用状況が分かる機能の追加等の検証 ・契約締結 ・事業周知	・事業周知 ・アプリ移行 ・運用開始	・事業周知 ・アプリ移行 ・運用開始	継続	私立保育幼稚園課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
令和8年度に全国実施予定のシステム標準化や自治体・医療機関等をつなぐ情報連携システム（PMH）などの状況を踏まえ、機能検証などを行い、効果的なリニューアルにつなげる。	複数の子育てアプリの機能比較を行ったが、令和8年度導入予定の標準化システムやPMHの仕様等が不明瞭であることから、令和7年度も引き続き子育てアプリの機能検証を行う。	複数の子育てアプリの機能検証を行い、子育てアプリ事業者と契約締結を行った。			
年度ごとの達成状況	△	○			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
アプリ登録件数	子育て支援アプリへの登録件数	12,000	14,000	9,100	10,100	件	私立保育幼稚園課	2. 子育て支援アプリの機能拡充（おやこの広場）
各年度の実績		13,538	14,731			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 チラシや子育て関連情報をまとめた冊子などで情報発信を行い、目標件数を上回ることができた。								
【施策指標の分析 R7】 チラシや子育て関連情報をまとめた冊子などで情報発信を行い、目標件数を上回ることができた。								

施策シート【15_02】－ 具体的な取り組み

子ども未来部

施策名称	子育てに対する相談体制及び地域の子育て支援の充実
------	--------------------------

3. 子育て短期支援事業の拡充

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
保護者の疾病等により家庭における養育が一時的に困難になった場合に、一時的に家庭での養育が困難な子どもを預かり、子育てを支援。	委託事業所を2か所増加	継続	対象年齢を18歳未満に拡大	継続	まるっとこどもセンター
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
必要な方が十分に事業を活用できるよう、効果的な事業運営を進める	委託事業所を2か所増加済み	柔軟に事業の利用調整を行うことで、年間利用者が増加した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
年間ショートステイ利用延べ日数	年間にショートステイを利用した延べ日数	900	900	1,000	1,100	日	まるっとこどもセンター	3. 子育て短期支援事業の拡充
各年度の実績		876	1,020			日	備考	
【施策指標の分析 R6】 昨年度に比べ、利用件数やや減少した。								
【施策指標の分析 R7】 柔軟な利用調整を実施することにより、前年度に比べて利用件数が増加した。								

施策名称	子育てに対する相談体制及び地域の子育て支援の充実
------	--------------------------

4. 地域子育て支援拠点の拡充

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
子育ての負担感等の緩和を図り、安心して子育て・子育てできる環境を整備するため、地域における子育て支援の拠点として、地域の実情に応じたきめ細かな子育て支援サービスの提供と地域全体での子育て親子の育ちの支援に関する取組を行う。	・子育て親子の交流の場の提供 ・相談・援助の実施 ・地域の子育て関連情報の提供 ・講習等を実施	東部（長尾）エリア、中部エリアの保育園等で拠点新設（2施設増）	継続	1 か所追加	私立保育幼稚園課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
市内13か所（公私立保育所（園）等、サブリ村野、教育文化センター、ファミリーポートひらかた）で地域子育て支援事業を実施するとともに、地域バランス等を考慮しながら新たな拠点施設の開設に取り組む。	市内13か所において上記の子育て親子の交流の場の提供等を実施した。 拠点新設に向け、民間保育施設への意向調査や現地確認のうえ、増設2施設を決定し、開設準備に取り組んだ。	新たに2か所で拠点施設を開設した。 また、市内15か所において上記の子育て親子の交流の場の提供等を実施した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
地域子育て支援拠点事業利用者数	子育て世帯が交流できる場を確保する地域の子育て支援拠点事業の利用者数	65,300	66,300	71,100	68,900	人	私立保育幼稚園課	4. 地域子育て支援拠点の拡充
各年度の実績		63,140	70,713			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 コロナ禍も明け、利用者数が回復基調にある。さらなる利用者増につながるよう、引き続き周知に努める。								
【施策指標の分析 R7】 案内チラシなどによる情報発信を行い、目標値を上回ることができた。								

施策シート【15_02】－ 具体的な取り組み

子ども未来部

施策名称	子育てに対する相談体制及び地域の子育て支援の充実
------	--------------------------

5. 地域子育て相談機関の設置

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
地域子育て支援拠点事業を実施する保育所等を地域子育て相談機関として位置付け、身近な地域において子育て世帯等からの相談を聞くとともに、まるっとこどもセンターと連携し、支援が必要な家庭に支援が届くよう取り組む。	現行の地域子育て支援拠点事業を実施している公立施設4施設を地域子育て相談機関と位置付け、先行して取り組む	地域子育て支援拠点事業を実施している民間施設においても取り組む。	継続	1 か所追加	まるっとこどもセンター
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
開設済の地域子育て相談機関の状況を検証しながら、身近な相談機関としての充実方策を検討する。	公立施設4施設にて年度当初より実施済み。	公立4施設に、私立4施設を加え、計8施設で実施。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
地域子育て相談機関の設置箇所	地域子育て相談機関の設置箇所	4	8	8	9	箇所	まるっとこどもセンター	5. 地域子育て相談機関の設置
各年度の実績		4	8			箇所	備考	
【施策指標の分析 R6】 公立4施設の設置は完了した。次年度以降引き続き民間施設への拡大を進める。								
【施策指標の分析 R7】 公立4施設に、私立4施設を加え、計8施設で実施。次年度も継続して実施する。								

施策シート【15_02】－ 具体的な取り組み

子ども未来部

施策名称	子育てに対する相談体制及び地域の子育て支援の充実
------	--------------------------

6.（仮称）子ども未来館の設置

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
地域子育て支援拠点等の機能と室内遊具や絵本コーナー等の室内遊び場を備えた施設を公設市場サンパーク1階跡地に整備する。	－	実施設計	工事	開設・運営開始	公立保育幼稚園課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
令和9年6月の完成に向けて、引き続き整備を進める。	－	実施設計を行った。			
年度ごとの達成状況		◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
（仮称）子ども未来館の年間延べ利用者数	（仮称）子ども未来館の年間延べ利用者数	－	－	－	15,000	人	公立保育幼稚園課	6.（仮称）子ども未来館の設置
各年度の実績		－	－			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 －								
【施策指標の分析 R7】 －								

施策シート【15_02】－ 具体的な取り組み

子ども未来部

施策名称	子育てに対する相談体制及び地域の子育て支援の充実
------	--------------------------

7. こども誰でも通園制度の実施

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
6 か月から3 歳未満の未就園児を対象に、こども誰でも通園制度を、渚西臨時保育室で実施する。令和8年度以降の量の見込みをもとに、公立・私立施設で十分な提供体制を確保する。	—	・実施準備 ・7月ごろから試行実施開始 ・本格実施に向けた検討	本格実施	継続実施	私立保育 幼稚園課 公立保育 幼稚園課
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
令和7年度の試行実施を踏まえ、量の見込みを算定しているが、こども誰でも通園制度は、令和8年度に全国で実施される新たな制度で、そのニーズは流動的かつ不確実であることから、実施状況を見極めながら対応を検討していく。	—	7月から渚西臨時保育室で試行実施を行った。 令和8年度の本格実施に向け、実施に必要な施設や受入体制の確保を進めた。			
年度ごとの達成状況		◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
年間延べ利用人数	こども誰でも通園制度の年間延べ利用人数	—	1,584	2,112	2,112	人	公立保育幼稚園課	7. こども誰でも通園制度の実施
各年度の実績		—	1,441			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 —								
【施策指標の分析 R7】 多くの申込みがあり抽選になる時間帯もあったが、発熱や家庭の用児等で休む利用児も多く、利用人数が目標値を下回った。								
定員充足率	量の見込みで定める毎年度の必要定員数を充足する。	—	—	100	100	%	私立保育幼稚園課 公立保育幼稚園課	7. こども誰でも通園制度の実施
各年度の実績		—	—			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 —								
【施策指標の分析 R7】 —							令和7年度に新規設定	

4. 取組満足度と関心・期待度・ニーズの4象限マトリクス分析

関心・期待度・ニーズが高い

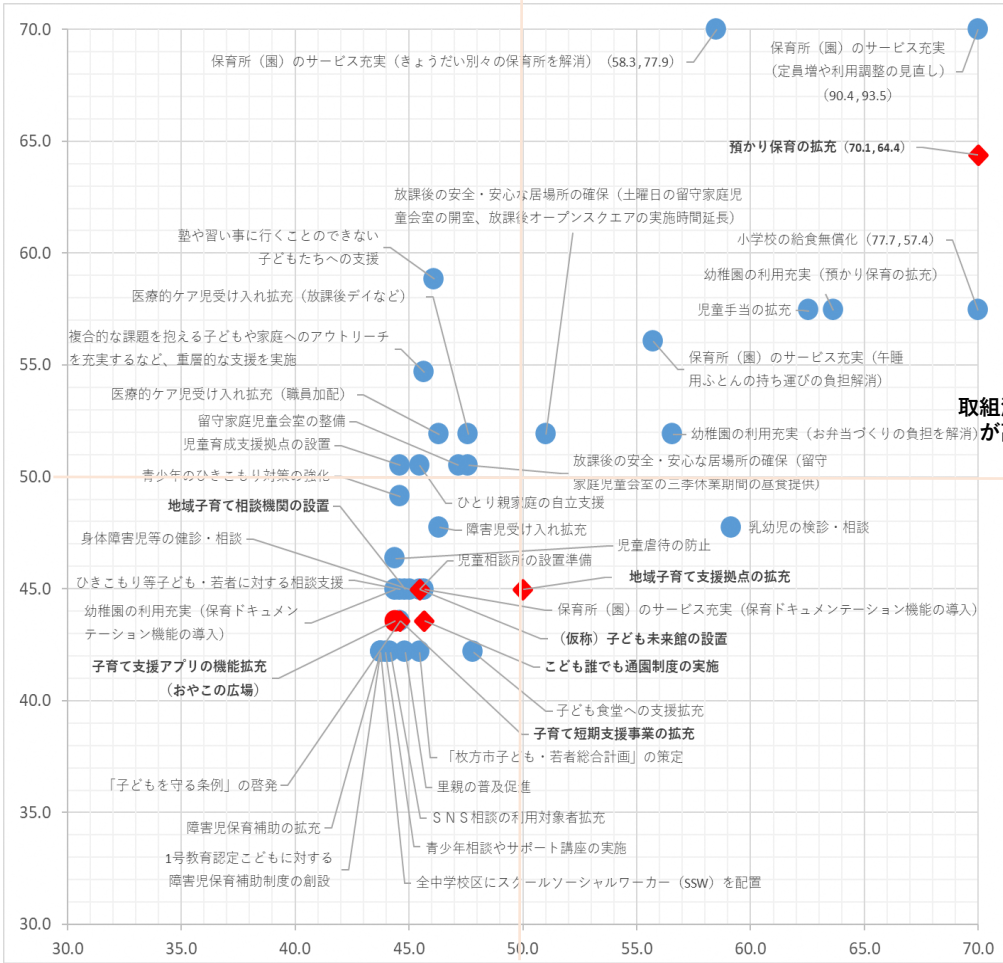
安心して子育てできる環境
15_02 子育てに対する相談体制及び地域の子育て支援の充実

施策満足度		
満足	不満足	どちらとも いえない わからない
32.5%	7.0%	60.5%
「決め手となった取り組みはない」と 回答した人		
25.5%		

※回答数／全体数1,762

※満足の定義は、「感じている」「やや感じている」を選択した人
不満足の定義は、「あまり感じていない」「感じていない」を選択した人

※各施策における取組満足度や関心・期待・ニーズを分析するものであり、異なる施策間での比較を行うものではありません。



目指すべき姿
(施策満足度)『安心して子育てできる環境』に紐づく全取り組み⇒青丸●

上記のうち施策シート『15_02 子育てに対する相談体制及び地域の子育て支援の充実』に紐づく取り組み⇒赤ダイヤ◆

施策の分析

- 【マトリクス分析】
- ・「1. 預かり保育の拡充」の関心・期待度・ニーズと取組満足度はともに高い。
 - ・「4. 地域子育て支援拠点の拡充」の取組満足度は低いが、関心・期待度・ニーズは平均的である。
 - ・「2. 子育て支援アプリの機能拡充（おやこの広場）」、「3. 子育て短期支援事業の拡充」、「5. 地域子育て相談機関の設置」、「7. こども誰でも通園制度の実施」の関心・期待度・ニーズと取組満足度はともに低い。

5. 評価を踏まえた今後の方向性

今後の方向性

- ・施策全体の方向性としては、（仮称）子ども未来館の整備や子ども誰でも通園制度の本格実施など、ソフト面とハード面それぞれの施策を行い、子育て世帯への支援を行っていく。
- ・「こども誰でも通園制度」については、令和8年度の本格実施にあたって、私立園含め市内4施設で開始する。
- ・子育て支援アプリは、機能検証を行い、効果的なリニューアルを行うことで、満足度の向上につなげる。
- ・（仮称）子ども未来館の整備について、屋内の遊び場とあわせて地域子育て支援拠点の役割や相談機能も備えることで、気軽に子育て相談ができる環境を整える。

6. 施策評価員による評価【外部評価】

施策評価員による評価

- ・身近な地域での支援は重要だが、役割分担や専門性の面で他機関との連携をさらに深化させる余地があるのではないか。
- ・未利用層を含む当事者の意見を吸い上げる機会を設け、市と市民が双方向でやり取りできる体制を整えるべきではないか。
- ・当該施策に関連する取り組みの対象に近い30歳台の満足度が61.5%に達しており、引き続き施策の充実に向けた取り組みを要望する。一方で、満足度が昨年より低下していることに対する要因分析や、施策・成果の発信の強化が必要ではないか。
- ・子育て支援は市のイメージアップに直結する。満足度を向上させる取り組みを推進してもらいたい。
- ・子育てに苦勞し困っている世帯への支援は社会経済への影響も大きい。地道な施策実行を求める。

1. 施策の概要

施策シート【15_03】

子ども未来部

施策名称		児童虐待等の発生予防、早期発見、早期対応	
総合計画体系	基本目標等	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心をはぐくむまち	
	施策目標等	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち	
めざす姿（主観的満足度）		安心して子育てできる環境が整っている	
概要		子どもの人権擁護の推進を図るため、児童虐待等の問題に対し、発生予防、早期発見、早期対応の取り組みを進める。	
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度	1. 児童相談所の設置準備 ○児童相談所開設準備チームを設置 ○ロードマップの作成	
	R7年度	1. 児童相談所の設置準備 ○児童相談所設置準備組織の設置 ○基本構想・計画の策定	
	R8年度	3. 児童育成支援拠点の設置 ○送迎支援開始	
	R9年度	3. 児童育成支援拠点の設置 ○東部エリア新規開設	

2. 市民満足度、取り組み実績および施策指標の分析

市民満足度の分析

【満足度32.5%】

- ・年代別では、最も高いのは30歳台で61.5%、最も低いのは70歳台で23.7%であった。
- ・昨年度と比較すると、全体では15.9ポイント減少しているが、若者世代（24歳以下）では2.6ポイントの減少に留まった。

取り組み実績および施策指標の分析

【取り組み実績】

- ・施策の進捗としては、概ね計画通りに進めることができおり、目標達成に向け推進している。

【施策指標】

- ・「児童虐待に関する相談件数」、「児童育成支援拠点の登録人数」は未達成である。

3. 具体的な取り組みの進捗と施策指標の実績

施策シート【15_03】－ 具体的な取り組み

子ども未来部

施策名称	児童虐待等の発生予防、早期発見、早期対応
------	----------------------

1. 児童相談所の設置準備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
準備組織の立ち上げなど体制の整備や専門員の確保、人材の育成。	・児童相談所開設準備チームを設置 ・児童相談所にかかる情報収集、調査、設置市視察等 ・ロードマップの作成 ・専門職の段階的採用（今後継続）	・児童相談所準備組織を設置 ・児童相談所設置にかかる基本構想・計画の策定 ・専門職の段階的採用（継続）	継続	継続	まるっとこどもセンター
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
児童相談所の開設を目指し、基本計画作成に取り組む	児童相談所の設置に向け、委員会を組織し、ロードマップを作成した。	児童相談所準備組織を設置し、児童相談所設置基本計画を策定した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

※関連指標なし

施策シート【15_03】－ 具体的な取り組み

子ども未来部

施策名称	児童虐待等の発生予防、早期発見、早期対応
------	----------------------

2. 児童虐待の防止

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
・児童虐待に対し、関係機関の連携や研修会等の啓発活動を通じて児童虐待防止への理解と意識の浸透と発生予防及び早期発見、早期対応の実施。	・関係機関向け研修の開催 ・市民向け研修の開催 ・11月の虐待防止月間における啓発キャンペーンの実施	・継続	・継続	・継続	まるっとこどもセンター
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
児童虐待の防止に関し、より効果的・効率的に取り組むを進める必要がある。	関係機関向け研修 (8/29、1/15) 市民向け研修 (12/7) オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン (11/1－11/30)	関係機関向け研修 (7/30、12/10) 市民向け研修 (12/10) オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン (11/1－11/30)			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
児童虐待に関する相談件数	児童虐待に関する相談件数	40,000	50,000	50,000	50,000	件	まるっとこどもセンター	2. 児童虐待の防止
各年度の実績		47,843	47,047			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 年間を通じて児童虐待に関する相談に対応した。								
【施策指標の分析 R7】 年間を通じて児童虐待に関する相談に対応した。								

施策シート【15_03】－ 具体的な取り組み

子ども未来部

施策名称	児童虐待等の発生予防、早期発見、早期対応
------	----------------------

3. 児童育成支援拠点の設置

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
養育環境に課題を抱える家庭や学校に居場所のない児童等の居場所となる場として、「児童育成支援拠点」を開設。	ラポールでの民間委託（週3日）	ラポールでの民間委託（週5日に拡充） 4エリアにおける開設に向けて検討 ・送迎支援開始	・ラポールでの民間委託（週5日） ・東部エリアでの開設準備	・ラポールでの民間委託（週5日） ・東部エリア新規開設	まるっとこどもセンター
取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	取り組み結果	備考
東部エリアにR9、4月の開設を目指し、運営事業者を選定する。信頼を築ける事業者を選定するため、募集要項や選定基準を検討する必要がある。また、枚方市内のどのエリアからも利用できるよう、さらなる拡充について検討する。	10月からラポールでの民間委託（週3日）を開始した	ラポールでの民間委託を週5日に拡充、併せて送迎支援を開始した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
養育環境に課題を抱える家庭や学校に居場所のない児童等の居場所の数	養育環境に課題を抱える家庭や学校に居場所のない児童等の居場所の数	1	1	1	2	箇所	まるっとこどもセンター	3. 児童育成支援拠点の設置
各年度の実績		1	1			箇所	備考	
【施策指標の分析 R6】 ラポールひらかたにて、児童育成支援拠点「こどもスペース ふらっと」を開設した。								
【施策指標の分析 R7】 ラポールひらかたにて、「こどもスペース ふらっと」を継続して実施。								
児童育成支援拠点の登録人数	児童育成支援拠点の登録人数	－	30	30	80	人	まるっとこどもセンター	3. 児童育成支援拠点の設置
各年度の実績		13	28			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 10月から児童育成支援拠点を開始し、13人の登録があった。								
【施策指標の分析 R7】 登録人数が28人へ増加した。								

4. 取組満足度と関心・期待度・ニーズの4象限マトリクス分析

関心・期待度・ニーズが高い

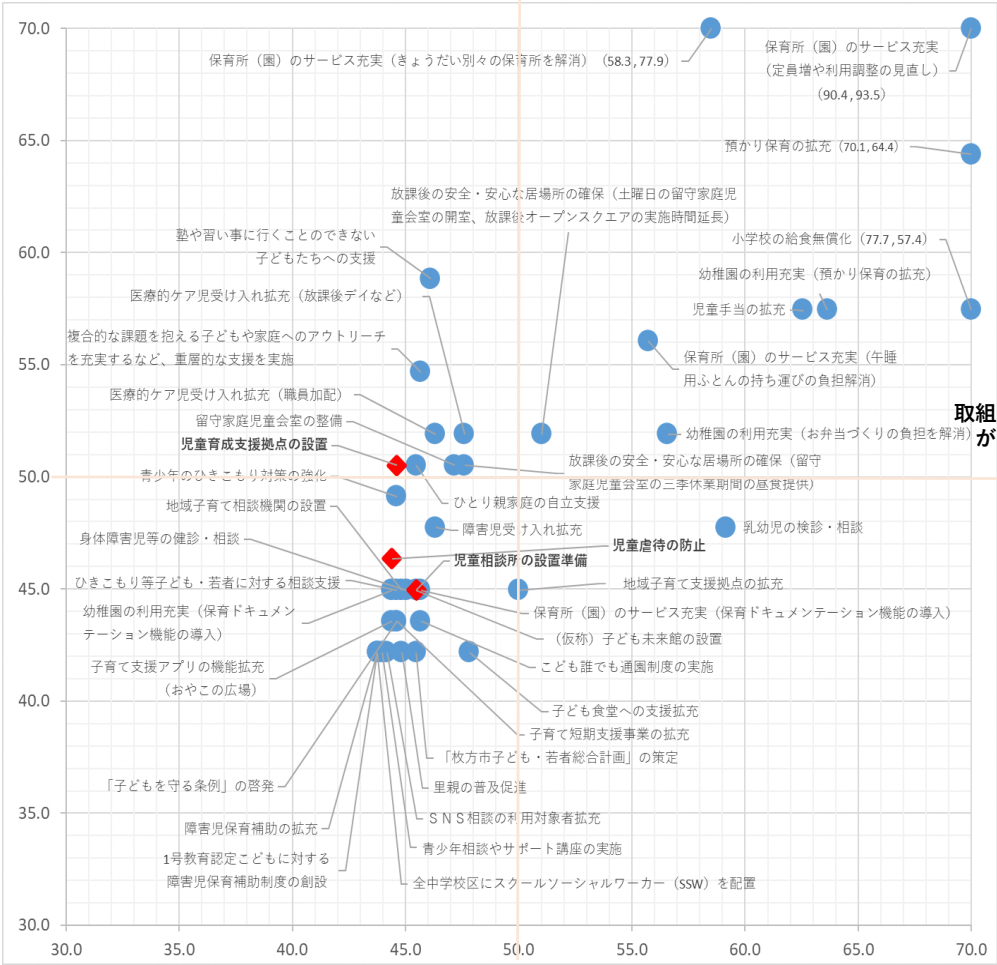
安心して子育てできる環境
15_03 児童虐待等の発生予防、
早期発見、早期対応

施策満足度		
満足	不満足	どちらとも いえない わからない
32.5%	7.0%	60.5%
「決め手となった取り組みはない」と 回答した人		
41.9%		

※回答数／全体数1,762

※満足の定義は、「感じている」「やや感
じている」を選択した人
不満足の定義は、「あまり感じていな
い」「感じていない」を選択した人

※各施策における取組満足度や関心・期待・
ニーズを分析するものであり、異なる施策
間での比較を行うものではありません。



目指すべき姿
(施策満足
度)『安心して
子育てできる
環境』に紐
づく全取り組
み⇒青丸●

上記のうち施
策シート
『15_03 早
期発見、早期
対応』に紐づ
く取り組み⇒
赤ダイヤ◆

施策の分析

- ・「1. 児童相談所の設置準備」の関心・期待度・ニーズと取組満足度はともに平均的である。
- ・「4. 児童育成支援拠点の設置」、「2. 児童虐待の防止」の取組満足度は低いに関心・期待度・ニーズは平均的である。

5. 評価を踏まえた今後の方向性

今後の方向性

- ・施策全体の方向性としては、児童虐待の発生予防に向け、効果的な施策を進めていく。
- ・児童相談所の開設に向け、必要な人材の確保・育成に取り組むとともに、児童相談所の基本設計・実施設計に着手するなど、開設準備を着実に進める。

6. 施策評価員による評価【外部評価】

施策評価員による評価

- ・自治会やPTAの弱体化により地域の周囲の見守りの目が弱まっている。住民の繋がりを促すソフト施策も並行すべきではないか。
- ・「決め手となった取り組みはない」が4割を超える現状は、施策が伝わっていない証拠である。安心感の醸成そのものを成果と捉え、進捗の広報を強化すべきではないか。
- ・児童相談所の充実だけでなく多くの関係機関と連携による柔軟な体制づくりも必要ではないか。
- ・児童相談所の開設等の動きを広報し、市の思いや考えを広く認識してもらうことも必要ではないか。
- ・児童相談所や児童育成支援拠点の設置は必須である。防止策とあわせて地道な実行を継続してほしい。